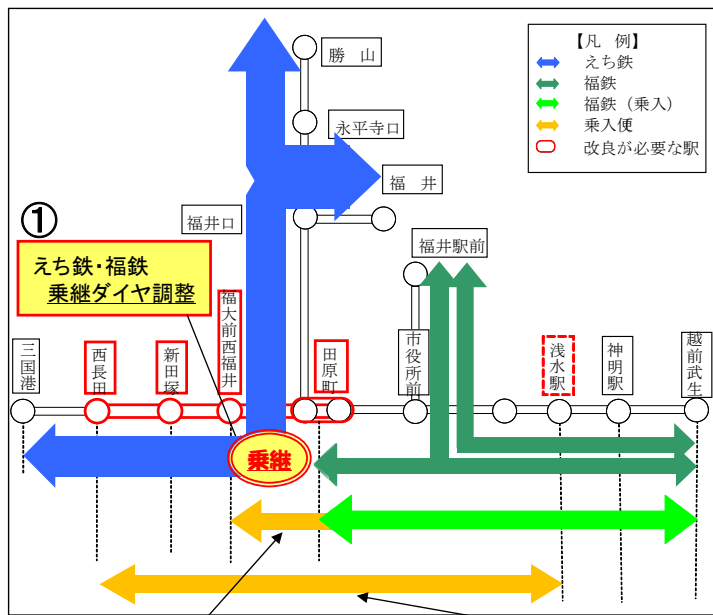


## 相互乗り入れ検討の進捗状況について

検討事項	進捗状況	今後の予定
① 運行案・運行経費の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行案・運行経費について、両事業者間で調整した案をもとに、11月の沿線市町(課長級)会議で内容を確認</li> </ul>	—
② 利用目標および割引運賃 ③ 利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進策・利用者目標について、9月と11月の沿線市町(課長級)会議で意見交換</li> <li>・割引運賃(案)について、現在、両事業者間で協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者目標および割引運賃(案)は、両事業者を中心に検討</li> </ul>
④ LRVの仕様、 共通発券システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LRVの仕様について、両事業者、県、福井市などで協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LRVの仕様および発券システム共通化は、両事業者を中心に検討</li> <li>(両事業者が共通仕様のLRVを導入できるよう、車両タイプについて年度内に特定すべく調整)</li> </ul>
⑤ 電停の拡幅およびPTPSの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電停の拡幅について、両事業者、福井市、県で協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電停の拡幅は、PTPSと併せて、道路管理者、警察と検討</li> </ul>
⑥ 事業費 ⑦ 事業手法 ⑧ 費用負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費算定のため、県は、10月から田原町駅等の概略設計調査に着手。同じく福井市は、田原町駅の駅舎や交通広場に関する調査に着手</li> <li>・活用を予定していた国の補助制度が、行政事業レビューで一旦廃止と判定。現在、国交省は新制度の創設を要求中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概略設計調査をもとに、事業費算定を早急に実施</li> <li>・事業手法は、政府予算案(12月)の結果をもとに検討</li> <li>・費用負担は、事業費算定後、県および福井市など沿線市町間で検討</li> </ul>

相互乗り入れの運行案

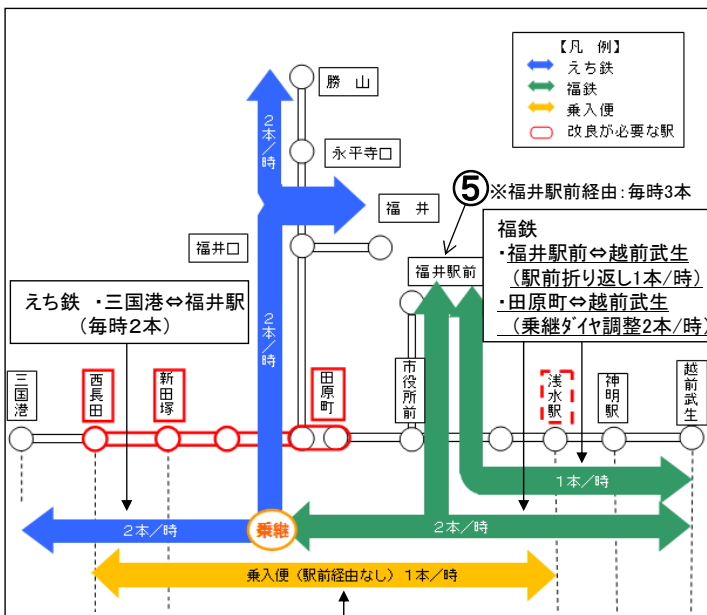
6時～9時(両事業者でダイヤを調整他)



② 福鉄・下り2便を福大前西福井まで乗入  
※ 新田塚への延伸を検討

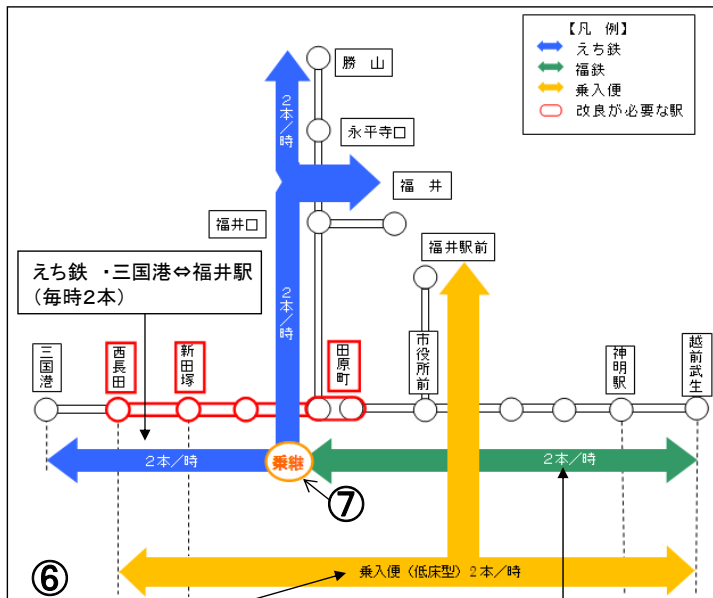
③ えち鉄・福武線乗り入れ  
(運行本数増を検討)

9時～15時(時間帯・運行案とも変更)



④ 乗入便・西長田⇔浅水(1本/時・駅前非経由)  
※ 鯖江・越前市方面への延伸を検討

15時～19時(時間帯のみ変更)

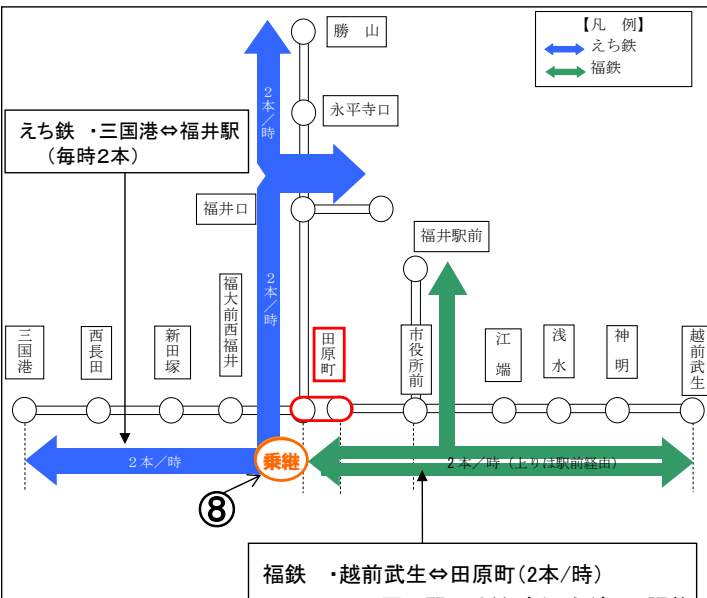


乗入便・西長田⇔越前武生 (2本/時)

福鉄・田原町⇔越前武生 (毎時2本・ダイヤ調整)

※ 前回運行案では16時～19時を想定。1時間前倒して実施

19時以降(変更なし)



福鉄・越前武生⇔田原町(2本/時)  
※田原町駅で乗継げるようダイヤ調整

上記運行案(修正版)の場合、

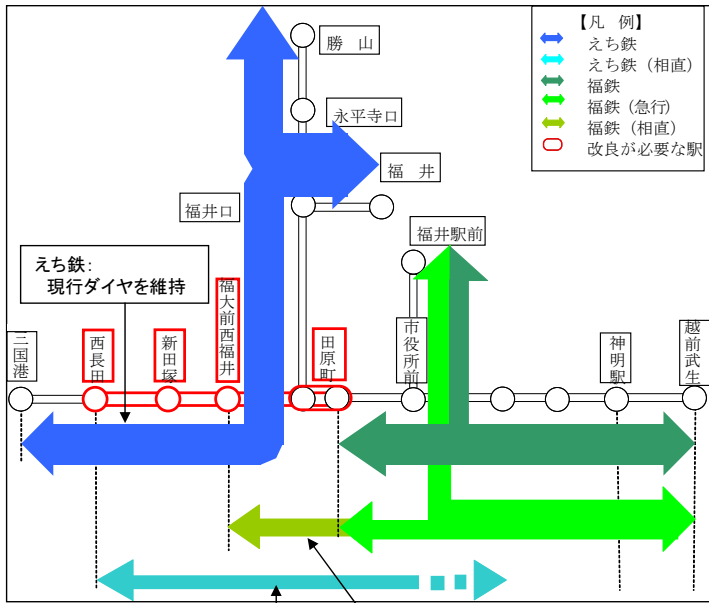
- ① 必要となるハード整備 (※駅改修、行違施設、車両等の増)  
えち鉄: 9か所 (福大前西福井、日華化学前、八ツ島、新田塚、中角、鷺塚針原、太郎丸、西春江、西長田)  
福鉄: 2か所 (田原町、浅水)、  
車両: 3編成増
- ② 運行経費  
運行パターンの変更に伴い、第2回会議で提示した約4,700万円/年(両事業者合計)から1~2割削減(県による試算)

相互乗り入れの運行イメージ（第2段階：西長田延伸）

（参考）

5月27日提示案

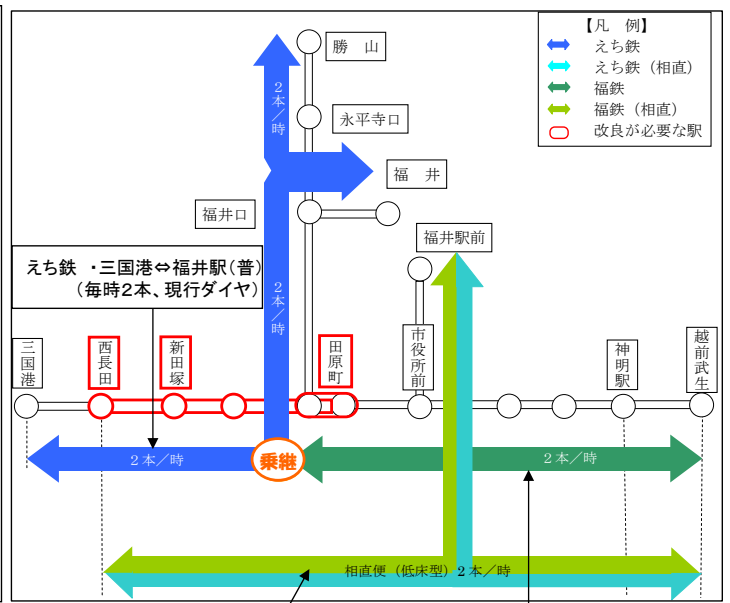
6時～9時



福鉄：現行ダイヤを維持しつつ、下り2便について、福大前西福井まで乗り入れ

えち鉄：西長田⇒福井方面への乗り入れを検討

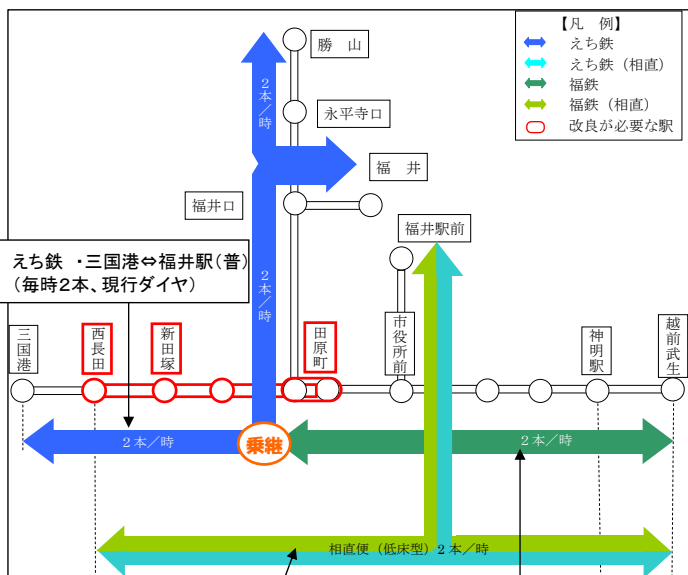
9時～16時



乗入便 ・越前武生⇔西長田(相直) (毎時2本:福井駅前経由)

福鉄 ・越前武生⇔田原町(普) (毎時2本・ダイヤ調整)

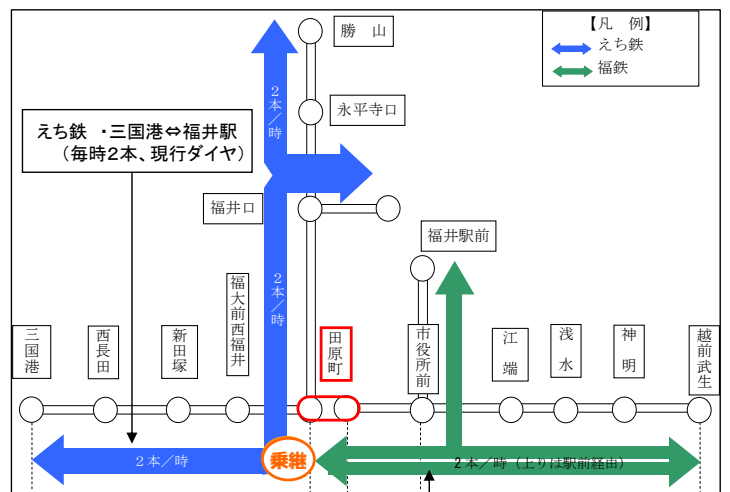
16時～19時



乗入便 ・越前武生⇔西長田(相直) (毎時2本:福井駅前経由)

福鉄 ・越前武生⇔田原町(普) (毎時2本・ダイヤ調整)

19時以降



福鉄 ・越前武生⇔田原町(普) (毎時2本) ※田原町駅で乗継げるようダイヤ調整

☆必要となるハード整備 (※駅改修、行違施設、車両等の増)  
 えち鉄: 9か所 (福大前西福井、日華化学前、ハツ島、新田塚、中角、鷺塚針原、太郎丸、西春江、西長田)  
 福鉄: 1か所 (田原町)  
 車両: 3編成増

## 相互乗り入れの利用促進策について

## 相互乗り入れに伴う改善点

## ◆ 直接的な改善として、

(1) 朝夕は、通勤通学者を対象に、

- ・直通乗り入れによる乗換不便が解消
- ・田原町駅での接続時間を改善。所要時間が短縮(10～15分)
- ・乗入便による運行本数の増加(約30本)

(2) 行楽や催し物に合わせ、臨時(季節)電車を越前武生駅⇄三国港駅間で運行可能

## ◆ 相互乗り入れの実施に併せて行なう改善として、

(3) 合算運賃から通し運賃の割引を行い、利用者の割高感を軽減(4) 最新鋭の LRV 車両を導入し、まちのイメージ刷新。両事業者が、車両の仕様を併せ、調達コストなどを縮減

※ 検討中の仕様：定員 150～170 人、長さ 30m 級、幅 2,650mm

(参考) 富山ライトレールの仕様：定員 80 人、長さ 18.4m 級、幅 2,400mm

(5) 田原町駅など 主要駅および周辺環境を改善。フェニックス通りの 電停の拡幅および PTPS の整備

※ 軌道敷内で車が電車の走行を妨げない方法も併せて検討

(信号のない交差点での右折対策等)

改善点を踏まえた利用促進となるよう関係付け

## 相互乗り入れと併せた利用促進策(協議事項)

## ◆ 「通勤・通学・業務」や「まちづくり」などを主眼に施策を強化(例えば以下の施策が考えられる)

## (1) 通勤・通学・業務として、

・直接的な営業活動の実施

- ・相互乗り入れ区間を中心に、事業者や工場、高校や大学などを訪問。官民あげて利用を呼びかけ

・サポート団体の活動の拡大

- ・個人会員中心のサポート団体活動の拡大に加え、新たに、法人・事業所を会員とするサポート団体を設置

・地域バス等との結節機能の強化

- ・運行本数の増える相互乗り入れ区間ではバスと電車のダイヤ調整を実施(利用者の多い駅を中心に)

・パーク&ライド駐車場整備の強化

- ・これまでもパーク&ライド駐車場の整備を行ってきたが、車の混雑が発生する手前で電車に乗り換えられるよう、さらに近郊型も含め整備(三国芦原線では、九頭竜川を渡る手前など)

・オーダーメイド型定期券の導入

- ・勤務形態に合わせた分割型定期券(片道定期や金曜定期など)
- ・業務時間帯の利用を促進する法人向け定期券等

## (2) まちづくりとして

・公共交通を活かしたまちづくりの推進

- ・駅や駅周辺に人が集まるよう沿線全体でまちづくりを行うとともに、核となる駅前広場の整備を推進(田原町駅前の交通広場や国体を踏まえ体育館前電停の整備)

## (3) 利用者の声を取り入れる工夫として

・利用者モニター制度の導入

- ・利用者(サポート団体)との連携を図り、鉄道運行の課題について指摘を受け、継続的な改善を実施等